

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第46週	第45週	第46週		第45週		第46週		第45週		第46週		第45週		第46週		第45週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	31	24	14	2	1	0	14	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	10	9	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	95	67	23	0	19	0	7	0	4	0	0	0	0	0	16	0	15	0
感染性胃腸炎	154	139	24	11	27	9	14	1	22	3	0	1	0	4	10	9	5	2
水痘	21	10	5	7	0	0	4	6	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
手足口病	95	127	23	2	20	14	15	0	14	5	0	1	0	1	8	1	6	8
伝染性紅斑	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	36	27	4	0	4	0	1	0	4	0	0	0	0	0	3	0	0	0
百日咳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	35	29	6	1	2	1	4	1	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0
流行性耳下腺炎	34	18	9	21	6	15	1	1	0	0	0	1	0	3	8	19	6	12
RSウイルス感染症	46	52	1	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	5	5	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

〈県中地域で流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の小流行が続いています〉

県中地域、主に田村地区で流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の流行が続いています。流行性耳下腺炎は2~3週間の潜伏期を経て発症し、耳の下や顎の下の腫れ、咳、鼻水、発熱などの症状がみられるようになります。年齢が上がると重症化しやすく、重度の合併症を引き起こす可能性もあります。また、児童・生徒が罹患すると、学校保健安全法により出席停止となります。流行性耳下腺炎の原因となるムンプスウイルスは感染力が強く、患者の呼吸器の飛沫を吸い込んで、あるいは患者の唾液で汚染されたものと接触することで感染します。予防法として最も有効なのは、予防接種を受けて免疫を獲得しておくことです。流行性耳下腺炎の予防接種は任意ではありますが、発症を防ぐため、重症化を予防するために非常に重要となりますので、積極的な接種が推奨されます。

インフルエンザに注意しましょう！



予防のポイント

《手指衛生》

流水・石鹸による手洗いは、手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触や飛沫感染などを感染経路とする感染症の対策の基本です。また、インフルエンザウイルスはアルコールによる消毒も有効であるため、アルコール製剤による手指衛生も効果があります。

《咳エチケット》

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、また、咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをするなど、普段から咳エチケットを心がけてください。

画像引用：厚生労働省HP <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou/keihatu.html>

この情報に関するお問い合わせ先：県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL: 0248-75-7818 E-mail: kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp